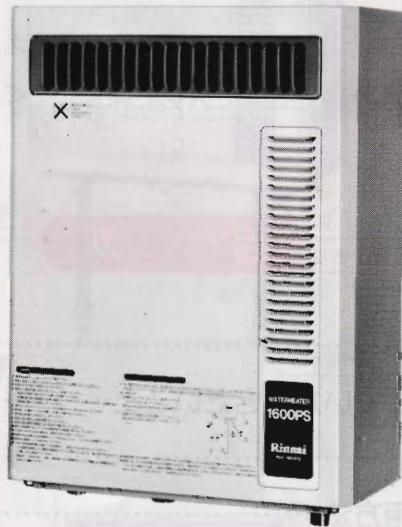


リンナイ ガス瞬間給湯器

形式の呼び

RUX-1600PS • RUX-1610PS
RUX-1600PSW • RUX-1610PSW

取扱説明書



B L 認定品

ご使用前に必ずお読みになり、保証書とともに大切に保管してください。

Rinnai

ご愛用の皆様へ

このたびはリンナイガス瞬間給湯器《RUX-1600PS RUX-1610PS》をお求めいただきまして、まことにありがとうございました。つねに最良の状態でお使いいただくために、この「取扱説明書」にしたがって正しくお使いください。

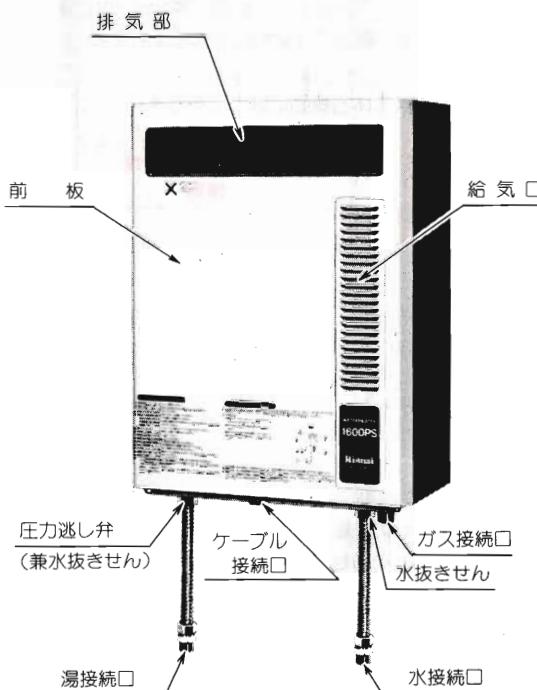
■保証書はお求めの販売店でお受け取りのうえ、よくお読みいただき、この説明書とともに大切に保管してください。

目 次

| | |
|------------------|----|
| 各部の名称 | 1 |
| 特に注意していただきたいこと | 2 |
| 器具の設置 | 3 |
| 器具の使用方法 | 4 |
| 冬期の凍結による破損防止について | 6 |
| 日常の点検・手入れ | 7 |
| 故障・異常の見分け方と処置方法 | 8 |
| 長期間使用しない場合 | 9 |
| 仕 様 | 10 |
| アフターサービス | 13 |

各部の名称

(本 体)



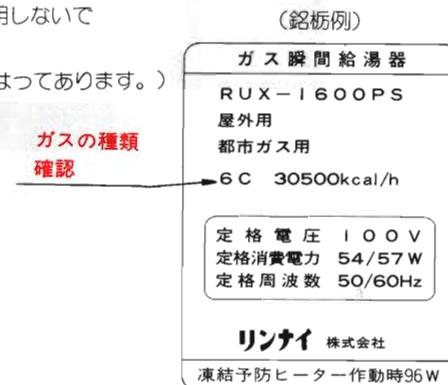
(メインコントローラ)



特に注意していただきたいこと

使用ガス及び電源について

- 器体（銘板）に表示してあるガス（ガスグループ）及び電源（電圧・周波数）以外のガス及び電源では使用しないでください。
(銘板は本体前面に周波数ラベルは本体右側面にはってあります。)



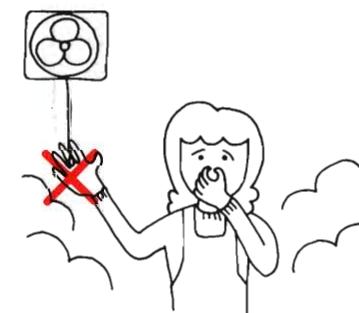
火災予防

- 器具の上や周囲には燃えやすいものを置かないでください。
- 排気筒の上にタオルやふきんなどをのせないでください。
- 火をつけたまま就寝や外出は絶対にしないでください。
- ガソリン、ベンジン、各種スプレーなど引火のおそれのあるものを近くで使用しないでください。



ガス事故防止

- 使用時の点火・消火のほか使用中には、ときどき正常に燃焼していることを確かめてください。
- 使用後や外出、就寝の際には必ず電源スイッチを切り、消火したことを確かめてください。
- ガス漏れに気づいたときは、すぐに使用をやめ、ガス元せんを閉めてからもよりの販売店が営業所へ連絡してください。
すべての処置が終るまでの間、絶対に火をつけたり電気器具（換気扇その他）のスイッチの入・切や電源プラグの抜き差しなどをしないでください。



器具の設置

標準の取扱い

使用上の注意

- 給湯及びシャワー以外の用途には使用しないでください。
- 器内に長時間たまっていた水は飲用または調理に用いないでください。
- 使用中および使用後は、排気筒や排気部周辺が高温になっておりますので手を触れないでください。
- 給湯及びシャワーを使う場合は最初に熱いお湯が出ることがありますので、湯温を確かめてからお使いください。
- この器具には、雷サージ吸収装置を内蔵しておりますが、直撃雷について電気部品の破損の危険があります。近くで雷の音が聞こえてきた時は、電源プラグをコンセントから抜くか、または(専用の)ブレーカーを切ってください。
- この器具には、冬期の凍結による破損防止のために「凍結予防ヒーター」が内蔵されています。凍結予防ヒーターを使用している期間中は緊急の場合以外は、電源プラグを抜かないでください。

凍結に注意

- この器具には凍結予防ヒーターを内蔵していますが、器具内の水が凍るおそれのあるときは、凍結による器具の破損を防止するために水抜きを必ず行なってください。
詳しくは6ページを参照してください。

異常時の処置

- 万一、異常な燃焼、臭気、異常音などが感じられたときや、(火災など)緊急の場合は、あわてず電源スイッチを切るとともに、ガス元せんを閉めて消火してから、もよりの販売店が営業所へ連絡してください。

器具の設置

- 器具の設置、移動及び付帯工事は、お買い求めの販売店にご依頼し、安全な位置に正しく設置してご使用ください。
- 正しく設置されているか確認してください。

器具の使用方法

（使用前の準備）

- 水抜きせんが確実に閉まっているかを確かめてください。
- 器具へ給水し、通水することを確認後、水を止めてください。
- 器具の電源プラグをコンセントに差し込んでください。
- 電源スイッチが「切」になっていることを確かめてからガス元せんを全開にしてください。

（操作のしかた）

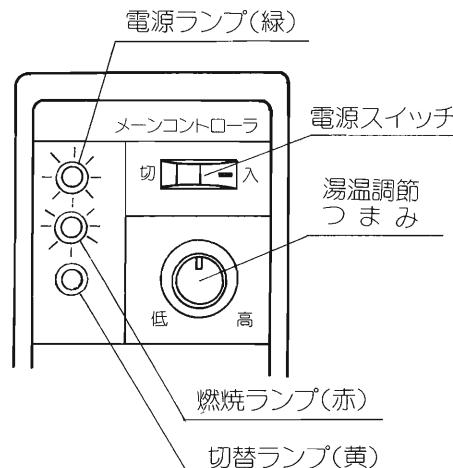
1. 点火・消火

（点火）

- 電源スイッチを入れてください。電源ランプ（緑）が点灯します。
- 使用する場所の給湯せんを開けば、燃焼ランプ（赤）が点灯し、自動的にバーナーに点火して湯が出ます。

（ご注意）

- ・電源ランプ（緑）が点滅した場合は、電源スイッチを切り、再び点火操作を行なってください。
- ・初めて使う場合は、ガス配管途中に空気がたまっていますので、すぐに点火せず安全装置が作動することがあります。この時は電源ランプ（緑）が点滅しますので、給湯せんを閉めてから電源スイッチをいったん切り、再度点火操作を行なってください。
- ・再点火操作は下記方法でも行なえます。
電源スイッチは入れたままにしておき、いったん給湯せんを閉め、10秒後再度開けてください。



（消火）

- 給湯せんを閉めれば自動的にバーナーの火は消え、燃焼ランプ（赤）が消えます。
- 就寝前や長時間使用しない場合は、電源スイッチを切り、ガス元せんを閉めてください。
電源ランプ（緑）が消えます。

2. 給湯・停止

- 給湯せんを開けば自動的にバーナーに点火してお湯が出ます。
- 同時に2ヶ所以上でお湯を出すことはできますが、それぞれの出湯量は減ることがあります。
- シャワー使用時は同時使用をできるだけさけてください。
- 給湯せんを閉めれば自動的にバーナーの火が消え、運転を停止します。

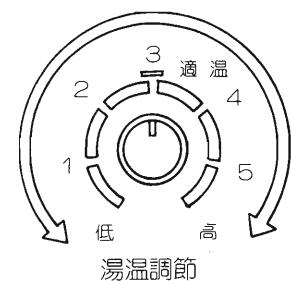
3. 湯温調節

- 単水せんの場合は湯温調節つまみでお好みの湯温に設定してください。

※湯温調節つまみと湯温について

| | | | | |
|--|----|-------|-------|-------|
| この湯温は、器具出口で の温度ですが、給湯せん での湯温とは必ずしも一 致しませんからあくまで目安としてください。 | 表示 | 低 温 | | 高 温 |
| | 湯温 | 約35°C | | 約75°C |

- 混合水せんの場合は、湯と水を混合し、必要な湯温と湯量を調節してください。



（ご注意）

- ・湯量が給湯能力以上の場合には“高温”に合わせても熱いお湯が出ない場合がありますので、湯量を絞ってお使いください。
- ・切替ランプ（黄）が消えている場合は、サブコントローラの湯温調節が優先し、メインコントローラで湯温調節はできません。

4. 湯量調節

- お手元の給湯せんでお好みの湯量に調節してください。

（ご注意）

- ・給湯せんを絞りすぎますと、バーナーの火が消えることがありますので注意してください。
特に混合水せんをご使用の場合は、器具側の通水量が少なくなりますので、季節により設定温を調節してお使いください。

冬期の凍結による破損防止について

冬期など寒い時期に運転を休止される場合には凍結のおそれがありますので、次のいずれかの方法で凍結予防を行なってください。

1. 凍結予防ヒーター

この器具には凍結予防用の電気ヒーターが内蔵されております。

この凍結予防ヒーターは外気温がさがってくると自動的に作動し、器具の凍結による破損を防ぎます。

〈ご注意〉

- ・この装置は電源プラグをコンセントから抜くと作動しませんので、抜かないでください。
- ・現場施工の状態により配管部分の凍結まで予防できない場合がありますので必ず保温材を巻くか寒冷地においては電熱ヒーターを巻いてください。
- ・なお通水しておく方法もありますが、この場合は電源スイッチを「切」にしておいてください。



2. 水抜き方法

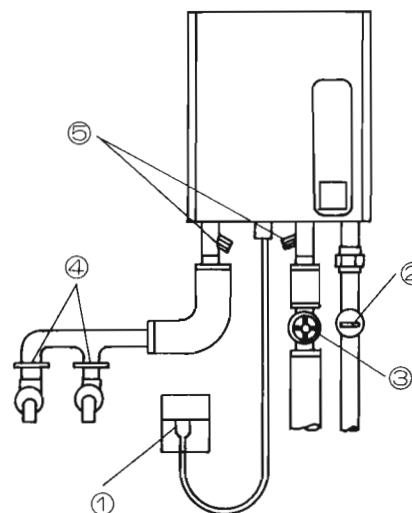
特に寒さの厳しい時や、長時間にわたりご使用にならない場合は下記の手順で水抜きをしてください。

- (1)電源スイッチを「切」にし、電源プラグ①をコンセントから抜いてください。
- (2)ガス元せん②および給水元せん③を閉めてください。
- (3)すべての給湯せん④を全開にしてください。
- (4)水抜きせん⑤を2個はずし、水を抜いてください。

〈ご注意〉

次にお使いになるまで、そのままにしておいてください。

再度お使いになる前に、水抜きせん⑤を閉め、器具に給水し、通水することを確かめてからご使用ください。



日常の点検・手入れ

○点検・手入れの際のご注意

- 点検・手入れの前には必ずガス元せんを閉め、電源プラグをコンセントから抜き、器具が冷えてから行なってください。
- 安全装置及びガスの通路部分、電気回路は絶対に分解しないでください。

○点検

- 給水・給湯配管部より水漏れはありませんか。
- 器具のまわりに燃えやすいものがおいてありませんか。
- ガス配管部よりガス漏れしていないか、ときどき石けん水などで点検してください。

○手入れ

- 器具の外装は、やわらかい布に中性洗剤をつけ、軽く拭いた後、乾いた布で十分水気をとつてみてください。

故障・異常の見分け方と処置方法

〔故障・異常の見分け方と処置方法〕

| 現象 原因 | 処置方法 | | | | | | | | | |
|-------------------------|----------------------|------------------------|-------------------|----------------------|------------------------|----------------------------|-------------------------|-----------------------|--|--|
| | 点火しない 電源ランプが点灯しない | 使用中に消火する 電源ランプが点滅する | 炎が安定しない 黄炎で燃える | ガスの臭いがある ガスの臭いがする | 高温の湯が出ない 湯が出ない・出が悪い | 異常な音をたてて燃える 異常な音をたてて燃える | 使用中湯温が変動する 低温にしてもあつい | | | |
| ガス元せんの開け忘れ | ● | | | | | | | 給湯せんを一度閉めてからガス元せんを開ける | | |
| ガス元せんの開き不足 | | ● | | | ● | | | ガス元せんを全開にする | | |
| ガスがなくなっている (LPガスの場合) | ● | ● | | | | | | ガス供給業者に連絡する | | |
| ガス配管中に空気が残っている | ● | | | | | | | 電源スイッチを「切」にし再び「入」にする | | |
| ガス圧力が適切でない 低い 高い | | ● | ● | ● | ● | ● | | 他の器具も同様の場合は点検依頼する | | |
| 出湯量が多すぎる | | | | | ● | | ● | 出湯量を減らす | | |
| 電源プラグが抜けている | ● | | | | | | | 電源プラグをコンセントにしっかりと差し込む | | |
| 停電している | ● | | | | | | | 使用をいつたん中止する | | |
| 給水元せんの開き忘れ | | | | | ● | | | 給水元せんを全開にする | | |
| 給水元せんの開き不足 | | | | | ● | | ● | 給水元せんを全開にする | | |
| 配管の容量不足 | | | | | ● | | ● | 点検依頼する | | |
| バーナーの炎口つまり 空気口つまり | | | ● | ● | ● | | | 点検依頼する | | |
| 熱交換器の目つまり | | | | ● | ● | | | 点検依頼する | | |
| 湯温調節が適当でない | | | | | ● | | | 適切な位置に合わせる | | |
| ノズルつまり | | | | ● | ● | | | 点検依頼する | | |
| 安全装置の作動 | | ● | | | | | | もよりの販売店か営業所へ連絡する | | |

〔安全装置が作動したときの処置方法〕

故障・異常の見分け方と処置方法を参考にしながら下記の処置をしてください。

電源ランプ(緑)が点滅したときは、いったん給湯せんを閉めて湯を止め、数秒間待ったのちに点火操作をやりなおしてください。それでも異常のある場合は電源スイッチを切るとともに給水元せん、およびガス元せんを閉めてからもよりの販売店か営業所へ連絡してください。

1. バーナー安全装置が作動したとき(電源ランプが点滅します。)

バーナーの炎が消えたときには、バーナー安全装置が働いて自動的にガスを止めます。

2. 残火安全装置が作動したとき(電源ランプが点滅します。)

万一、給湯せんを閉めても、メインバーナーの炎が消えなかつたときは、残火安全装置が働いて自動的にガスを止めます。

3. 沸騰防止装置が作動したとき(電源ランプが点滅します。)

夏場で水温が高いときに、少流量の湯を使用して給湯温度が沸騰するような高温となつた場合には、沸騰防止装置が働いて自動的にガスを止めます。

4. 過熱防止装置(温度ヒューズ)が作動したとき(電源ランプが点滅します。)

ご使用中器具内の温度が異常になつたとき、過熱防止用温度ヒューズが作動し、自動的にガスを止めます。

5. 圧力逃し弁(過圧防止用の安全装置)が作動したとき

器具内に異常圧が生じたとき、圧力逃し弁から水滴が落ち、缶体の損傷を防ぎます。

この装置が働く場合は診断が必要ですので、もよりの販売店か営業所にご連絡ください。

長期間使用しない場合

- 長時間使用しない場合は、電源プラグをコンセントから抜き、ガス元せん、給水元せんを閉め、水抜きをしておいてください。

仕様

(仕様一覧表)

| | | | | | |
|---------------------|---|---------------------------|-----------------|--|--|
| 品名 | ガス瞬間給湯器 | | | | |
| 形式の呼び | RUX-1600PS RUX-1600PSW | RUX-1610PS RUX-1610PSW | | | |
| 種類 | 屋外用 | | | | |
| 点火方式 | 連続放電式点火 | | | | |
| 重量 | 21kg | | | | |
| 外形寸法 | 高さ570mm×幅450mm×奥行210mm | | | | |
| 接続 | ガス | 20A (PT3/4オスネジ) | | | |
| | 給水 | 20A (PT3/4オスネジ) | 15A (PT1/2オスネジ) | | |
| | 給湯 | 20A (PT3/4オスネジ) | 15A (PT1/2オスネジ) | | |
| 電気関係 | 電源 | AC100V | 50/60Hz | | |
| | 消費電力 | 54/57W (凍結予防ヒーター作動時96W) | | | |
| | 電源コードの長さ | 2m | | | |
| 最低作動水圧 | 0.2kg/cm ² (3ℓ/min) | | | | |
| 排気温度 | 260℃以下 | | | | |
| 湯温調節 | リモート操作方式 35℃～75℃ | | | | |
| 表示ランプ(メンコントローラ) | 電源ランプ 燃焼ランプ | | | | |
| 湯温制御方式 | 比例制御方式 | | | | |
| 遠隔操作盤(メンコントローラ)の大きさ | 高さ175mm×幅88mm×奥行32mm | | | | |
| 安全装置 | バーナー安全装置 残火安全装置 過熱防止装置(温度ヒューズ) 沸騰防止装置 圧力逃し弁 凍結予防装置 | | | | |
| 別売部品 | メンケーブル サブコントローラ | | | | |

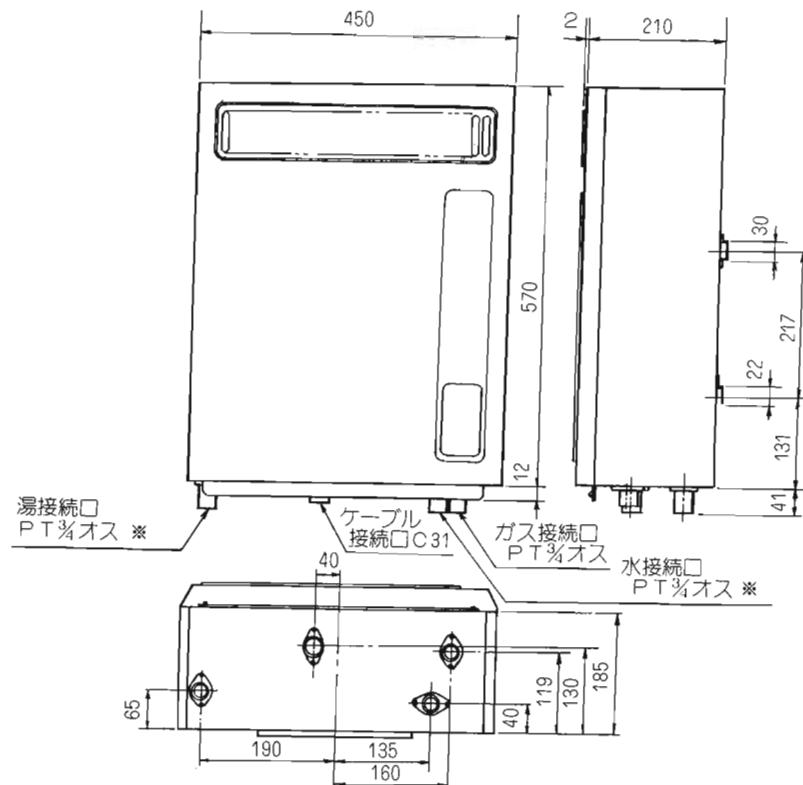
(能力表)

| 使用ガス 使用ガスグループ | 1時間当たり ガス消費量 | 出湯能力(能力最大) | |
|------------------|-----------------|-----------------------|------------------|
| | | 水温+25℃上昇 | 水温+40℃上昇 |
| 都市ガス用 | 4 A | 28,500 kcal/h | 15.2 ℓ/min |
| | 4 B | 29,000 kcal/h | 15.5 ℓ/min |
| | 4 C | 30,500 kcal/h | 16.3 ℓ/min |
| | 5 A | 30,500 kcal/h | 16.3 ℓ/min |
| | 5 AN | 30,500 kcal/h | 16.3 ℓ/min |
| | 5 B | 30,000 kcal/h | 16.0 ℓ/min |
| | 5 C | 30,500 kcal/h | 16.3 ℓ/min |
| | 6 A | 30,500 kcal/h | 16.3 ℓ/min |
| | 6 B | 30,000 kcal/h | 16.0 ℓ/min |
| | 6 C | 30,500 kcal/h | 16.3 ℓ/min |
| 13A・12A | 7 C | 31,000 kcal/h | 16.5 ℓ/min |
| | 11 A | 30,500 kcal/h | 16.3 ℓ/min |
| LPGガス用 | | 30,500(28,500) kcal/h | 16.3(15.2) ℓ/min |
| | | | 10.2(9.5) ℓ/min |

(注) 出湯能力は計算値です。

13A・12A共用器具の()は12Aを示します。

外形寸法図



* RUX-1610PS、RUX-1610PSWの場合は
水接続口及び湯接続口はPT $\frac{1}{2}$ となります。

アフターサービス

サービス(点検・修理)を依頼される前に

- 8ページの「故障・異常の見分け方と処置方法」の項をもう一度ご確認ください。なお異常の出る時は、必ずガス元せん・給水元せんを閉め、電源プラグを抜いてから、もよりの販売店か営業所にご連絡ください。
- アフターサービスをお申しつけになる場合は、住所・氏名・電話番号・形式の呼び・使用ガス・現象などをあ知らせください。

転居される場合

ガスには都市ガス14種類およびLPGガスの区分があります。ガスの種類が異なる地域へ転居される場合には、部品の交換や調整が必要となりますので、転居先のガスの種類を確認の上、もよりの販売店または当社営業所にご相談ください。この場合、調整・改造に要する費用は、保証期間内でも有料修理となります。

保証について

この器具には保証書がついています。

当社は保証書に記載してあるように、器具の販売後、器具に故障がある場合、一定期間と一定条件のもとに、無料修理に応ずることを約束します。(詳細は保証書をご覧ください。)

保証書を紛失されると、無料修理期間であっても修理費をいただぐ場合がありますので、大切に保管してください。

補修用性能部品の最低保有期間について

この器具の補修用性能部品の最低保有期間は製造打切後7年です。

性能部品とは、製品の機能を維持するために必要な部品です。

(注: この旨に認定のガス給湯器の修理可能期間は10年です。)

連絡先

もよりの販売店か営業所にご連絡ください。

裏表紙の住所一覧表を参照してください。